パチット 蛇口の使用方法

●蛇口径14mmから18mmの丸蛇口に使用できます。
●ゴムパッキンと止めネジとの二重の締め付けにより、水漏れ、脱落の心配が全くありません。
●ホースと蛇口の接続、分離がワンタッチでできます。

蛇口ニップル
・ゴムパッキンを水で濡らしニップルの凹み部分が蛇口にピッタリ合うように深く差し込み、蛇口が中央になるように止めネジを均等に締めてください。

止ネジ
・ドライバー又は１０円硬貨でも締められます。

コネクター
・本体のニップルに接続してください。はずす時はスライドリングを持って引き抜いてください。

ホースニップル
・ホースの差し込みホースロックナットを締めつけてご使用ください。

ツメ付きリング
・ホースを締めつけるものですので紛失しないでください。ツメ付きリングに無理な力を加えますと、リングの一部が切れることがありますが使用上支障ありません。又、逆さまに入れないようご注意ください。（ホースが抜けることがあります）

ホースロックナット

ホース
・ホース内径12mm～16mmで外径21mmまでのホースをご使用ください。

取り付け時止めネジを強く締め付け過ぎると、クラックが入ることがあります。

品質表示

原料樹脂／ＡＢＳ樹脂、ポリアセタール
金属材料／ステンレス
ゴム材料／ＥＰＲ
耐熱温度／60℃
取扱上の注意／火のそばに置かないこと。たわし又はみがき粉でみがくと、きずがつくことがあります。

鼻咽喉ファイバースコープ洗浄器　タイプ３

取扱説明書

株式会社　高研

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14
TEL(03)3816-3500 FAX(03)3816-3570

2014年4月作成

C-1-374-4-01-00

A. 設置のしかた

1. 水道水の流量を適切に調節することで、洗浄パイプ上部から水をあふれさせることなく洗浄できますが、水量調節時や水圧変動が多い場合は一時的にあふれる場合がありますから、流しの中またはバットなどの浅型容器の中に設置されることをお勧めします。
2. 本体底部の底面調整ネジを回して底部が水平に安定するように調整してください。
3. 薬液パイプ、洗浄パイプを本体にセットします。左右どちら側でもセット可能ですので使いやすいようにセットしてください。
4. ホルダー受けの蝶ネジを緩めてホルダーの高さと位置を調整します。洗浄パイプ側のホルダー高さはファイバースコープをセットしたときにその先端が洗浄パイプの2本の赤いラインの間にくるように、また薬液パイプ側の高さはファイバースコープ挿入部全体が消毒液に浸かるように調整します。
5. ホースを水道の蛇口につなぎます。付属のパチット蛇口では蛇口径 14mm～18mm の丸蛇口に使用可能です。それ以外の蛇口（泡沫水栓など）ではアダプターが必要になる場合があります。
6. 洗浄パイプ下部の白いリング状ネジを緩めると排水ホースの向きが自由に変えられます。

B.使用方法

1. 洗浄に関する注意や使用できる消毒剤については、ご使用のファイバースコープの取扱説明書に従ってください。
2. 薬液パイプの準備:
   底蓋がゆるんでいないことを確認の上、消毒液を入れます。薬液パイプ上端から3～4cm下に液面がくるように（約 230mL）入れてください。
3. 拭き取り:
   本器で洗浄する前に、ファイバースコープに付着している血液や粘液を生食水や消毒液を浸したガーゼで拭き取ります。
4. 洗浄準備:
   まずホルダーを後方に押しずらしてファイバースコープが周りに触れることなく洗浄パイプに挿入できる状態にします。次にファイバースコープ挿入部をグリップ近くまで洗浄パイプに入れてから、ずらしておいたホルダーを元の位置に戻してセットします。
   これにより洗浄前のファイバースコープによるホルダーや洗浄パイプ上部の汚染の可能性が低くなります。
   ライトガイドコードは適当に巻いて、先端をパイプ脇の孔に差し込んでください。
   ファイバースコープの先端が 2 本の赤いラインの間（図 2 参照）にあることを確認してください。
5. 洗浄:
   水道の蛇口を少しずつ開け、水量を調整します。
   シャワーノズルから出た水が給水パイプの上側で合流するくらいの水量が目安です。（図３参照）合流位置がこれより下になると十分な水流がファイバースコープに当たらず、洗浄不足になるおそれがあります。
   上記の水量の目安に合わせてから2分間流水洗浄してください。赤いライン（下）内部にある椀状流水反転板で乱流が発生し、ファイバースコープの対物レンズ面が洗浄されます。先端が赤いライン（上）より上にあると対物レンズ面の下に空気が溜まり、十分洗浄されません。また、先端が赤いライン（下）より下方にくるようにセットすると対物レンズ面損傷の原因となりますのでご注意ください。
6. 消毒:
   洗浄パイプからファイバースコープを取り出し、薬液パイプ側にセットします。ファイバースコープ挿入部全体が消毒液に浸ることを確認してください。取り出すとき、薬液パイプにセットするときもホルダーは後方に押しずらしてください。
   消毒剤の種類によって効果が期待できる時間浸漬します。
7. 流水すすぎ:
   消毒が終わったら再び洗浄パイプにセットして 1 分間の流水すすぎで消毒剤を洗い流します。水量調節は「5. 洗浄」と同じです。
8. ホルダーを後方に押しずらした上で、ファイバースコープ挿入部をホルダーやパイプ上部などに触れないように注意して取り出してください。
9. 薬液パイプを使用しないときには蓋をしておいてください。

注意

※本器にはビデオケーブル・コネクターを保持する機構がないため、電子スコープの使用を保証いたしません。
※薬液パイプ、洗浄パイプは週1回必ず洗浄してください。
　ただし、パイプの材質はアクリル樹脂ですので、アルコール等の有機溶剤のご使用は避けてください。
※薬液パイプは洗浄しやすいように底蓋がはずれます。洗浄パイプ下部の白いリング状のネジを完全にはずすと排水エルボが取れます。また排水用ホースも取り外すことができます。取り付ける際には必ず元どおりOリングを入れてください。尚、薬液パイプの底蓋を取り付ける際は消毒液の漏れを防ぐために、しっかりと締め付けてください。
※本器では、鉗子チャンネル付きファイバースコープの鉗子チャンネル内は洗浄できません。
※本器は洗浄器ですので滅菌の保証はいたしません。
※洗浄後ファイバースコープを洗浄パイプ内に放置せず、速やかに洗浄パイプから出し、乾燥状態で保管してください。一部の機種において、防水加工してあるものの蒸気遮蔽性が低く、スコープ内部で結露したという事例が報告されています。

別売品

製品番号	製品名	包装単位
#3101	洗浄パイプタイプ3用	1組
#3097	薬液パイプ タイプ2･3用	1組

図１

図２　図３